



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社 セック
コード番号 3741 URL <https://www.sec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 寿顕

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,369	16.3	451	25.1	480	26.0	336	25.6
2022年3月期第2四半期	2,897	2.0	360	5.0	381	5.3	267	6.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	66.01	
2022年3月期第2四半期	52.40	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,205	7,052	85.9
2022年3月期	8,425	7,090	84.2

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 7,052百万円 2022年3月期 7,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		61.00	61.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				62.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,950	5.9	1,070	0.7	1,130	2.1	785	0.6	153.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	5,120,000 株	2022年3月期	5,120,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	26,867 株	2022年3月期	3,367 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	5,096,795 株	2022年3月期2Q	5,112,837 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日開示いたします。

また、当社は2022年11月25日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、2021年4月以降の前年同月の月別売上高は、2022年3月を除き増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察されます。当社事業分野では、移動体通信事業者向けのサービス系の開発が回復基調となり、官公庁向けの開発、宇宙天文分野の開発も堅調に推移するなど、需要構造の変化が継続しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し、増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのXR(クロスリアリティ)サービスの開発が大幅に増加し、売上高は467百万円(前年同期比64.7%増)となりました。インターネットBFは、非接触ICを利用した開発が大幅に増加したものの、民間企業向けの大型案件の開発が終了し、売上高は519百万円(同3.5%減)となりました。社会基盤システムBFは、官公庁向けの開発が引き続き好調で、売上高は1,202百万円(同26.7%増)となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙天文分野の開発が大幅に増加し、売上高は1,179百万円(同4.7%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、モバイルネットワークBF、社会基盤システムBFが上昇し、インターネットBF、宇宙先端システムBFが減少しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,369百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益451百万円(同25.1%増)、経常利益480百万円(同26.0%増)、四半期純利益336百万円(同25.6%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	283,668	9.8	467,290	13.9
インターネット	538,459	18.6	519,662	15.4
社会基盤システム	949,104	32.7	1,202,927	35.7
宇宙先端システム	1,125,953	38.9	1,179,412	35.0
計	2,897,186	100.0	3,369,293	100.0

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	572,000	211.2	350,725	238.9
インターネット	471,337	91.2	242,655	70.1
社会基盤システム	973,820	102.0	1,774,959	121.4
宇宙先端システム	1,246,550	103.6	723,920	109.9
計	3,263,709	110.8	3,092,260	118.3

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ219百万円減少し、8,205百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少909百万円・現金及び預金の増加557百万円などによる流動資産の減少345百万円、有形固定資産の増加133百万円などによる固定資産の増加126百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ180百万円減少し、1,153百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少115百万円・買掛金の減少65百万円などによる流動負債の減少233百万円、資産除去債務の増加43百万円などによる固定負債の増加52百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少、自己株式取得による減少などの結果、前事業年度末に比べ38百万円減少し、7,052百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の84.2%から85.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ557百万円増加して、四半期末残高は3,792百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は1,032百万円となりました。これは主に、売上債権の減少924百万円及び税引前四半期純利益480百万円による増加、法人税等の支払額232百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して84百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は94百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出91百万円によるものであります。なお、前年同期は90百万円の収入でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は380百万円となりました。これは主に、配当金の支払い310百万円、自己株式取得による支出68百万円によるものであります。前年同期と比較して90百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,234,956	3,792,893
受取手形、売掛金及び契約資産	3,339,134	2,429,637
商品及び製品	8,840	6,643
その他	69,445	77,507
流動資産合計	6,652,375	6,306,681
固定資産		
有形固定資産	38,651	171,959
無形固定資産	6,266	4,704
投資その他の資産		
投資有価証券	807,087	792,659
その他	920,826	929,716
投資その他の資産合計	1,727,913	1,722,375
固定資産合計	1,772,832	1,899,039
資産合計	8,425,208	8,205,721
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,113	233,772
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	258,061	142,748
賞与引当金	306,000	280,000
役員賞与引当金	19,500	—
その他	276,725	269,281
流動負債合計	1,195,400	961,802
固定負債		
資産除去債務	14,491	58,464
その他	124,417	133,282
固定負債合計	138,908	191,747
負債合計	1,334,309	1,153,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	588,175
利益剰余金	5,987,642	6,011,989
自己株式	△11,514	△64,794
株主資本合計	7,040,769	7,012,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50,129	39,500
評価・換算差額等合計	50,129	39,500
純資産合計	7,090,899	7,052,171
負債純資産合計	8,425,208	8,205,721

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,897,186	3,369,293
売上原価	2,055,175	2,396,645
売上総利益	842,011	972,648
販売費及び一般管理費	481,213	521,405
営業利益	360,798	451,242
営業外収益		
受取利息	1,700	1,600
受取配当金	570	636
不動産賃貸料	2,073	2,126
補助金収入	—	4,219
受取出向料	16,247	20,901
その他	1,175	1,583
営業外収益合計	21,767	31,068
営業外費用		
支払利息	348	340
不動産賃貸費用	740	743
支払手数料	1	495
その他	4	—
営業外費用合計	1,095	1,579
経常利益	381,470	480,731
税引前四半期純利益	381,470	480,731
法人税、住民税及び事業税	87,230	117,721
法人税等調整額	26,321	26,548
法人税等合計	113,551	144,269
四半期純利益	267,918	336,462

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	381,470	480,731
減価償却費	15,732	15,089
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,000	△26,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,370	△19,500
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△25,044	△26,852
受取利息及び受取配当金	△2,271	△2,236
支払利息	348	340
売上債権の増減額 (△は増加)	1,214,515	924,250
未収入金の増減額 (△は増加)	△29	△5,787
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△31,426	2,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	△82,607	△65,341
未払金の増減額 (△は減少)	△24,993	△27,891
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,046	8,943
その他	△7,906	5,001
小計	1,315,370	1,262,945
利息及び配当金の受取額	2,333	2,225
利息の支払額	△348	△343
法人税等の支払額	△200,401	△232,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,116,954	1,032,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,651	△91,180
無形固定資産の取得による支出	△1,790	△109
投資有価証券の取得による支出	△821	△892
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△572	△2,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,163	△94,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△289,731	△310,421
自己株式の取得による支出	—	△68,955
リース債務の返済による支出	—	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,731	△380,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	917,387	557,937
現金及び現金同等物の期首残高	2,853,976	3,234,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,771,363	3,792,893

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式30,000株の取得を行いました。また、2022年6月28日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式6,500株の処分を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が53,279千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が64,794千円となっております。